

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2003-51024 (P2003-51024A)

【公開日】平成 15 年 2 月 21 日 (2003.2.21)

【出願番号】特願 2002-150349 (P2002-150349)

【国際特許分類】

**G 0 6 T 15/00 (2006.01)**

**A 6 3 F 13/00 (2006.01)**

**G 0 6 T 15/70 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 T 15/00 1 0 0 A

A 6 3 F 13/00 B

A 6 3 F 13/00 P

G 0 6 T 15/70 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 28 日 (2006.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 3 次元空間の画像を生成するための画像生成システムであって、ゲーム状況に応じて注視点を設定する注視点設定手段と、透視投影変換後の所与の画像が描画された描画領域において、前記注視点の奥行き値と各画素の奥行き値に基づいてぼかし処理の対象となる画素を決定するぼかし対象画素手段と、

ぼかし処理の対象となる画素に対してその近傍の画素を用いて画素単位の合成処理を行う合成手段と、

を含むことを特徴とする画像生成システム。

【請求項 2】 3 次元空間の画像を生成するための画像生成システムであって、ゲーム状況に応じて注視点を設定する注視点設定手段と、

透視投影変換後の所与の画像が描画された描画領域において、前記注視点の奥行き値と各画素の奥行き値に基づいてぼかし処理の対象となる画素を決定するぼかし対象画素決定手段と、

ぼかし処理の対象となる画素に対して、前記所与の画像、前記所与の画像に近似した画像、前記所与の画像に関連した画像、前記所与の画像を加工した画像のいずれかを用いて画素単位の合成処理を行う合成手段と、

を含むことを特徴とする画像生成システム。

【請求項 3】 請求項 1 乃至 2 のいずれかにおいて、

前記ぼかし対象画素決定手段は、

注視点の奥行き値に基づき前記ぼかし処理の対象となる画素を判断するためのしきい値を設定し、前期しきい値と各画素の奥行き値を比較してぼかし処理の対象となる画素を決定することを特徴とする画像生成システム。

【請求項 4】 請求項 1 乃至 3 のいずれかにおいて、

前記ぼかし対象画素決定手段は、

前記注視点の奥行き値に基づき前記ぼかし処理の対象を判断するためのしきい値を段階

的に複数設定し、前期複数のしきい値と各画素の奥行き値を比較してぼかし処理の対象となる複数の画素集合を特定し、

前記合成手段は、

特定された複数の画素集合に対してそれぞれ画素単位の合成処理を行うことを特徴とする画像生成システム。

【請求項5】 3次元空間の画像を生成するためのコンピュータが読み取り可能な情報記憶媒体であって、

ゲーム状況に応じて注視点を設定する注視点設定手段と、

透視投影変換後の所与の画像が描画された描画領域において、前記注視点の奥行き値と各画素の奥行き値に基づいてぼかし処理の対象となる画素を決定するぼかし対象画素手段と、

ぼかし処理の対象となる画素に対してその近傍の画素を用いて画素単位の合成処理を行う合成手段と、

としてコンピュータを機能させるためのプログラムが記憶されていることを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項6】 3次元空間の画像を生成するためのコンピュータが読み取り可能な情報記憶媒体であって、

ゲーム状況に応じて注視点を設定する注視点設定手段と、

透視投影変換後の所与の画像が描画された描画領域において、前記注視点の奥行き値と各画素の奥行き値に基づいてぼかし処理の対象となる画素を決定するぼかし対象画素手段と、

ぼかし処理の対象となる画素に対して、前記所与の画像、前記所与の画像に近似した画像、前記所与の画像に関連した画像、前記所与の画像を加工した画像のいずれかを用いて画素単位の合成処理を行う合成手段と、

としてコンピュータを機能させるためのプログラムが記憶されていることを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項7】 請求項5乃至6のいずれかにおいて、

前記ぼかし対象画素決定手段は、

注視点の奥行き値に基づき前記ぼかし処理の対象となる画素を判断するためのしきい値を設定し、前期しきい値と各画素の奥行き値を比較してぼかし処理の対象となる画素を決定することを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項8】 請求項5乃至6のいずれかにおいて、

前記ぼかし対象画素決定手段は、

前記注視点の奥行き値に基づき前記ぼかし処理の対象を判断するためのしきい値を段階的に複数設定し、前期複数のしきい値と各画素の奥行き値を比較してぼかし処理の対象となる複数の画素集合を特定し、

前記合成手段は、

特定された複数の画素集合に対してそれぞれ画素単位の合成処理を行うことを特徴とする情報記憶媒体。